



## ■2学期が終了します！ すてきな本に会えましたか？

8月～12月までの総来館者数→4171人（開館日1日平均70人）

総貸出冊数→5248冊（開館日1日平均88冊） 12月19日まで



2学期も全校のみなさんがいろいろな場面で図書館（メディアセンター）を利用しました。一日平均70人の来館者は全校生の36%にあたります。毎日全校生の3人にひとりとは図書館にきていることになります。1～4年生は毎週一時間メディアセンターを利用しています。5年生以上も教科やふるさと未来科などでメディアセンターを利用して学習しました。また、一日平均88冊の本が借りられ読まれました。個人で借りるほかに、学級文庫や教科で使う図書などで図書館の本が活用されていました。図書館にあるたくさんの本は読まれてこそ値打ちがあります。2学期たくさんの行事や取組もある中で図書館・メディアセンターが1学期と同じくらい利用され本が活用されていることはとてもうれしいことです。3学期もぜひたくさんの人に図書館を利用してもらい、すてきな本との出会いが生まれるよう工夫していきます。



## ■2学期をふりかえって・・・

### ◆9月→「いろいろなジャンルにチャレンジ！」

#### その1♡朝の読み聞かせ



2学期も「絵本大好き！京北お話の会」のみなさんによる月1回の朝の読み聞かせ（前期課程）を続けています。行事や季節、取組に合わせていろいろなジャンルの本を読んでいます。読まれた本はしばらく教室においてもらっています。図書館にない本もあり、読書の幅が広がっています。



#### その2♡1～4年への読み聞かせ

毎週1回の図書館活用時間の使い方も定着してきました。返却や貸出も手順よくできるようになりました。毎回の読み聞かせも楽しみにしてくれているので司書も読み聞かせの本を選ぶのが楽しみです。2学期は紙しばいや大型絵本も読みました。国語の教科書に紹介されている本も読み聞かせたり紹介したりしています。紹介した本は必ずだれかが借りてくれるのでうれしいです。



### ◆10月・11月→「読書の秋！」

### ◆もみじ読書週間

#### その1♡選書会…1～4年生と教職員向け

10月27日(月)～31日(金)

#### その2♡ハロウィーン特別企画 この日に本を借りた人にシールをプレゼント

#### その3♡読書ノート(前期課程) どんどん冊数が増えています！



読書ノートの記入をがんばっています。2年生ではなんと1000冊をこえた人が2人も！3年生でも200冊をこえた人が出てきています。新しい読書ノートを作るのにいそがしい司書です。4～6年生も冬休みにこれまで読んだ本を記入しましょう。



選書した本については  
予算内で購入しました。  
届いた本から貸出して  
います。

この日の貸出は  
191冊、来館者は  
88人でした！



## ■文化図書委員会…次のメンバーとバトンタッチ！

10月には文化祭という大きな行事に大活躍した文化図書委員会です。11月からは8年生が中心となり新メンバーでの活動が始まりました。

学級文庫の借りかえ、カウンター当番として返却業務の手伝いという日常活動とともに、百人一首大会などの文化行事も進めています。3学期にはまた新しい取組もあると思うので楽しみです。



## ■冬休みに向けてのお知らせ・・・短い期間ですが本に親しめるといいですね

●ひとり10冊まで貸出をしています。 ●返却期限は 1月9日(金) です。

●1月7日(水)～9日(金)は返却のみです。

●13日(火)から通常貸出を始めます。

※冬休み前に借りた本を全部返却できた人は通常通り本を借りることができます。

●冬休み中は学校図書館は休館です。(環境整備や蔵書点検・学校閉鎖日のため)



## ■地域開放図書館からのお知らせ

●地域開放図書館の12月の開館は終了しました。 来年は 1月11日(日)から開館します。

児童生徒も来館でき、カードのある人は本を借りることができます。

※分館は12月26日(金)まで開館しています。 1月の開館は1月7日(水)からです。  
※京都市移動図書館 こじか号 12月27日(土)10:30～12:00 京北合同庁舎前



## ■学校司書のつぶやき

「この本ある？もう一回読みたいと思って。」職場の先生にたずねられ探しだして貸出をしました。「すごくいい本やから絶対読んでみて!」と強くすすめられ、読んだのが「アヴェ・マリアのヴァイオリン」(香川宣子著)という本です。とても深い内容でぐいぐい引きこまれ、あっという間に読み終わりました。

日本の現代の少女あすかと、第二次世界大戦中のアウシュビッツ強制収容所で過酷な体験をしたユダヤ人少女ハンナ、二人の少女を時を超えて一丁のヴァイオリンが結びつけていきます。収容所での悲劇、音楽の持つ力、戦争の愚かさを描きながらも、命の尊さや未来への希望を伝えてくれる心に残る作品でした。

戦後80年の今年は平和への思いを強くしています。ぜひ読んでほしい1冊です。



楽しい冬休みをすごしてくださいね！ よいお年をお迎えください。3学期も図書館で待っています！